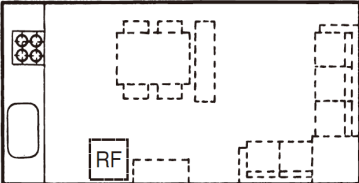
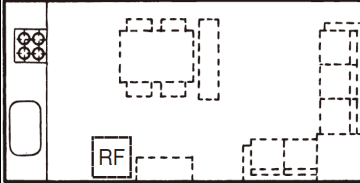
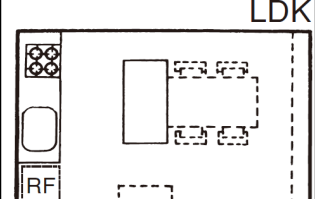
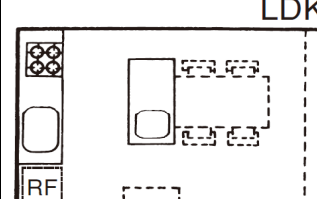
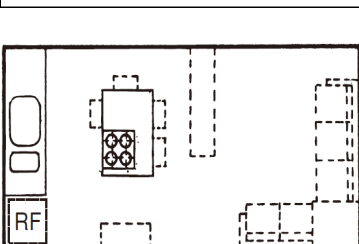
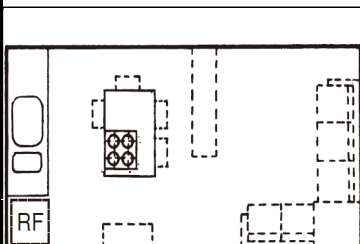
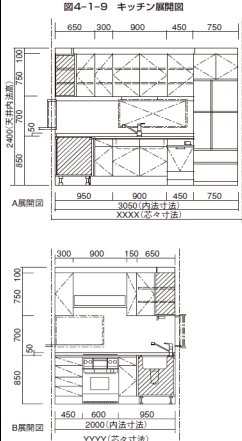
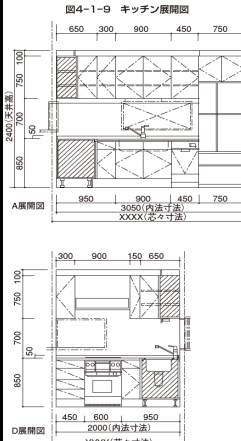


[改訂二版] キッチンスペシャリストハンドブック正誤表 一括化版

◇適用ハンドブック：改訂二版4刷(2022.10.1発行)

更新日 2024/9/11

頁	行・図表番号	誤	正	正誤表発行日	適用HB
22	表1-2-2	ウイルス性 ノロウイルス	ウイルス性 ノロウイルス	2024/9/1	1~4
23	左上から5行目	ノロウイルス予防のためには	ノロウイルス予防のためには	2024/9/1	1~4
28	表1-2-5	量の油の中で、	多めの油の中で、	2024/9/1	1~4
71	表2-1-2	 LDK L、D、Kの機能をコンパクトにまとめた	 LDK LDKの機能をコンパクトにまとめた	2024/9/1	1~4
71	表2-1-2	 LDK LD兼用セットでゆったりと	 LDK LD兼用セット	2024/9/1	1~4
71	表2-1-2	 LDK カジュアルな雰囲気	 LDK カジュアルな雰囲気	2024/9/1	1~4
78	右上から4行目	標準偏差をゆとり寸法して加減	標準偏差をゆとり寸法として加減	2024/9/1	1~4
106	右上から7行目	有効面積当たりの人員は0.16人・日/m ² が基準となる(空気調和衛生工学便覧第13版)。	有効面積当たりの人員は0.16人/m ² が基準となる。	2024/9/1	1~4
107	左下から10行目	では、汚水を単独し尿浄化槽で処理してから雑排水として排水する分流式となる。	では、汚水や雑排水を合併処理浄化槽で処理した後でなければ、公共用水域に放流してはならない。	2024/9/1	1~4
116	左下から16行目	天然木の単層素材(突板)を使用した	天然木の単層素材を使用した	2024/9/1	1~4
121	左下から7行目	(図2-4-4 ナチュラル1、クラシック1、シック)。	(図2-4-4 ナチュラル1、クラシック1)。	2024/9/1	1~4
122	左上から20行目	色相(H)は、基本色相としてR(赤)、Y(黄)、G(緑)、B(青)、P(紫)、	色相(H)は、主要色相としてR(赤)、Y(黄)、G(緑)、B(青)、P(紫)、	2024/9/1	1~4
159	表3-3-3	・風量は多くないが静圧が低く	・風量は多いが静圧が低く	2024/9/1	1~4
177	右上から13行目	また、燃焼給排気の取り方から、開放型・半密閉型・密閉型・屋外設置型に分類できる。	また、屋内外設置方式から、屋内式、屋外式に区分され、さらに屋内式は給排気方式によって開放式、半密閉式、密閉式に区分されている。	2024/9/1	1~4
177	右下から15行目	①開放型燃焼機器	①開放型燃焼機器	2024/9/1	1~4
177	右下から8行目	②半密閉型燃焼機器	②半密閉型燃焼機器	2024/9/1	1~4
177	右下から2行目	③密閉型燃焼機器	③密閉型燃焼機器	2024/9/1	1~4
190	図4-1-9	 図4-1-9 キッチン展開図 A展開図 B展開図	 図4-1-9 キッチン展開図 A展開図 D展開図 (A展開図の(天井内法高)→(天井高)) (B展開図→D展開図)	2024/9/1	1~4

頁	行・図表番号	誤	正	正誤表発行日	適用HB
190	図4-1-10		<p>(A展開図の(天井内法高)→(天井高)) (B展開図→D展開図)</p>	2024/9/1	1~4
191	図4-1-11		<p>(補足) ・B展開図→D展開図 ・(「注:図中の「CPS100」等は、キッチンメーカーの部材・機器の略称の一例であるが、本書では、機器・部材の品番を①、②、③～のように示す。」をD展開図の下に追記) ・A展開図 ・高さ寸法2400に「(天井高)」を追記 ・幅650→950 ・幅3050に「(内法寸法)」を追記 ・幅XXXXに「(芯々寸法)」を追記 ・D展開図 ・幅50→150 ・幅2000に「(内法寸法)」を追記 ・YYYYに「(芯々寸法)」を追記</p>	2024/9/1	1~4
205	左下から3行目	必要に応じて修正することができる。	必要に応じて修正することができる。	2024/9/1	1~4
207	右上から2行目	床下や天井上も狭く、	床下や天井懐も狭く、	2024/9/1	1~4
229	表4-3-3	工事別工程表モデル	工事別全体工程表モデル	2024/9/1	1~4
230	左上から4行目	効率的に行う事を目的とする。	効率的に行うことを目的とする。	2024/9/1	1~4
232	左上から5行目	墨出しの基準は、壁に隣接するユニットの両端を基準とする。	墨出しの基準は、壁に隣接するユニットの両端となる位置である。	2024/9/1	1~4
265	左上から11行目	柔軟に対応できる事が求められる。	柔軟に対応できることが求められる。	2024/9/1	1~4
265	左上から16行目	②長く使い続ける事に	②長く使い続けることに	2024/9/1	1~4
312	左下から19行目	「給水用具」は「給水装置」から配水管を除いたもので、	「給水用具」は「給水装置」から給水管を除いたもので、	2024/9/1	1~4
352	引用文献	図2-2-13、16、21	図2-2-13、15	2024/9/1	1~4
352	引用文献	図2-2-17	図2-2-16	2024/9/1	1~4
354	参考文献		・空気調和・衛生工業学会「空気調和・衛生工学便覧第14版」 (新規追加)	2024/9/1	1~4
360	索引	配水管……………168	排水管……………169	2024/9/1	1~4
14	右下から4行目	女性の方が上回っている費目は住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服および履物、保健医療、交通・通信費である。女性は、住居や衣服にお金をかけ、洗濯や掃除など家事をこなすどちらかといえは在宅型のライフスタイルであるが、交通・通信が男性より高い。また、男性は、教養・娯楽、交際費にお金をかける非在宅型のライフスタイルといえよう。通信費の割合が高くなっているのは携帯、パソコンを多用する現代の特徴である。	女性の方が上回っている費目は、住居、被服および履物、保健医療、交通・通信費である。女性は、住居や衣服にお金をかけ、洗濯や掃除など家事をこなす在宅型のライフスタイルであるが、交通・通信も男性が多い。また、男性は、教養・娯楽、交際費など非在宅型のライフスタイルといえよう。男女共であるが、特に女性の交通・通信費の割合が高いのは、携帯電話、パソコンを多用する現代の生活が垣間見えている。	2022/10/1	1~3
30	右下から20行目	、張り合わせた麻布	、貼り合わせた麻布	2022/10/1	1~3
42	右下から4行目	板張りや	板貼りや	2022/10/1	1~3
48	左上から10行目	200万年前に	約200万年前に	2022/10/1	1~3
48	左下から7行目	90万年前の	約90万年前の	2022/10/1	1~3
48	左下から6行目	50万年前の	約50万年前の	2022/10/1	1~3

頁	行・図表番号	誤	正	正誤表発行日	適用HB
52	左下から13行目	木製亜鉛鉄板張り、人造石研ぎ出し、モザイクタイル張り	木製亜鉛鉄板貼り、人造石研ぎ出し、モザイクタイル貼り	2022/10/1	1～3
77	右上から4行目	使用性よりも耐震時と操作時の安全性を優先させて、	使用性よりも震災時などでの物の落下に伴う吐水の防止を優先させて、	2022/10/1	1～3
122	左下から2行目	色立体の縦断面ごと(すなわち各色相ごと)	色立体の縦断面ごと(すなわち色相ごと)	2022/10/1	1～3
136	左上から1行目	化粧合板をフラッシュ芯に張り合わせて	化粧合板をフラッシュ芯に貼り合わせて	2022/10/1	1～3
136	左上から13行目	薄い化粧板を張り合わせたもの	薄い化粧板を貼り合わせたもの	2022/10/1	1～3
136	右下から9行目	平板化粧張り	平板化粧貼り	2022/10/1	1～3
158	左下から9行目	電気こんろは、シーズヒーターをガス方式のバーナーの代わりに組み込んだ電気グリルタイプや電気オープンにグリル機能を内蔵したタイプがある。	電気式のグリルは、ガス方式のバーナーの代わりにシーズヒーターを組み込み短時間で焼き上げることができる。電気オープンにグリル機能やレンジ機能を内蔵したタイプもある。	2022/10/1	1～3
167	左下から11行目	1) 給水とは 遊離残留塩素が給水栓において0.1mg/L以上保持する、病原生物や有害物質を含まないなど、水道法で定めた水質を保つことが必要である。 給水栓での必要圧力は300～400 kPa程度である。10 m水柱(ヘッド)の静水圧は、98 kPa(旧単位では1 kgf / cm ²)である。	1) 給水とは 水道事業者の配水管から住宅のメーター等を経由して給水管・直結給水用具(給水栓・洗浄弁・給湯器等)を正常に作動させるためには、使用状況にもよるが、給水管の水圧は0.30～0.40MPa(最小動水圧0.15MPa)に、給水用具の水圧は0.03～0.07MPa(一般には0.05MPa)程度に保つ必要がある。水柱10mの底面での静水圧は0.098MPaであり、動水圧は管内の水が流れる状態で測定したものである。(図3-4-2) また、給水栓における遊離残留塩素の含有率を百万分の0.1以上(病原生物に汚染されるおそれがある場合などは百万分の0.2以上)に保持するなど、水道法で定めた水質を保つことが必要である。	2022/10/1	1～3
199	図4-1-20			2022/10/1	1～3
220	右下から10行目	技は、受験者の「キッチン計画に関するプレゼンテーション能力を判定する」として設定され、出題・採点がなされる。	技試験は、キッチン空間の企画・提案に関する、説得力のあるプレゼンテーションの作成などの基礎能力を有しているか否かが審査される。	2022/10/1	1～3
230	左下から5行目	:壁下地にボードを貼り、	:壁下地にボードを張り、	2022/10/1	1～3
283	右上から19行目	そこで、一般的には営業総利益(つまり、営業諸経費・管理費を含んだ利益、粗利益ともいわれる)を製品原価に加えて見積価格を算定するが、実際には製品原価に予め定められている粗利益率を乗じて見積価格として提出する例が多い。	そこで、一般的には売上総利益(つまり、営業諸経費・一般管理費を含んだ利益、粗利益ともいわれる)を売上原価に加えて見積価格を算定するが、実際には予め定められている粗利益率を用い、売上原価を1-粗利益率で除して見積価格として提出する場合がある。	2022/10/1	1～3
17	左上から9行目	2015年9兆5209億円	2015年6兆5629億円	2020/10/5	1～2
17	左上から9行目	世界で4番目	世界で6番目	2020/10/5	1～2
17	左上から10行目	世界最大の農産物純輸入国	世界有数の農産物純輸入国	2020/10/5	1～2
40	左上から4行目	1965年に始まる	1966年に始まる	2020/10/5	1～2
77	右上から13行目	高齢者人口の割合が7%以上を高齢化社会、21%以上を超高齢社会と言う。	高齢化率が7%を超えると高齢化社会、14%を超えると高齢社会、21%を超えると超高齢社会という。	2020/10/5	1～2

頁	行・図表番号	誤	正	正誤表発行日	適用HB
81	図2-2-11	<p>図2-2-11 作業点とワークトップの高さ</p> <p>H=身長155cmの場合の実際の「切る」作業点の高さ。 h=身長155cmの場合のJIS規格のワークトップの高さ。 ()内は、165cmの場合。</p> <p>シンク 調理台</p> <p>加熱調理機器</p>	<p>赤枠が修正箇所(スリッパを削除)</p> <p>図2-2-11 作業点とワークトップの高さ</p> <p>H=身長155cmの場合の実際の「切る」作業点の高さ。 h=身長155cmの場合のJIS規格のワークトップの高さ。 ()内は、165cmの場合。</p> <p>シンク 調理台</p> <p>加熱調理機器</p>	2020/10/5	1~2
81	左下から3行目	これが作業面の高さになる。スリッパ履き等を	(改訂した) これが作業面の高さになる。 スリッパ履き等を	2020/10/5	1~2
94	図2-2-27	<p>2400 24000 800 800 囲み4人席</p>	<p>タテ寸法 2400 とした</p> <p>2400 2400 800 800 囲み4人席</p>	2020/10/5	1~2
96	左下から7行目	を100倍、1000倍にする必要がある。	を10倍、100倍にする必要がある。	2020/10/5	1~2
132	右下から7行目	キッチンライアングルに	ワークライアングルに	2020/10/5	1~2
137	左下から10行目	下の台座(ベースプレート)はビスで扉に固定し、上の台座(カバープレート)は、カップでビスによりボックスの側板に固定され、上下のプレートはネジで上下・左右・前後(奥行)の3方向にスライドして、ボックスと扉の位置が調整される。	下の台座(ベースプレート)はビスでボックスの側板に固定し、上の台座(カバープレート)は、カップでビスにより扉に固定され、2つのプレートはネジで上下・左右・前後(奥行)の3方向にスライドして、ボックスと扉の位置が調整される。	2020/10/5	1~2
145	右上から5行目	ベースキャビネット用、	フロアキャビネット用、	2020/10/5	1~2
146	右下から18行目	1) 床下収納庫キッチンの床に組み込む収納で、主として一戸建住宅で使用される。使用頻度が低いものの収納に使用される。	1)は削除。 2)以降の項目番号は、「1)」を削除したことで1ずつ繰り上がる。	2020/10/5	1~2
146	右下から18行目	1) 床下収納庫キッチンの床に組み込む収納で、主として一戸建住宅で使用される。使用頻度が低いものの収納に使用される。	1)を削除	2020/10/5	1~2
146	右下から14行目	2) 洗濯機・乾燥機	1) 洗濯機・乾燥機	2020/10/5	1~2
146	右下から11行目	3) 給湯機器	2) 給湯機器	2020/10/5	1~2
146	右下から8行目	4) 冷暖機器	3) 冷暖機器	2020/10/5	1~2
146	右下から4行目	5) その他	4) その他	2020/10/5	1~2
166	図3-2-1	<p>注: 給湯の熱源は、一般にはどれか1つを使用する。また、一部の空気炉、給水、電力等の詳細は省略している。</p>	<p>赤枠が修正箇所(拡大版は次頁)</p> <p>注: 給湯の熱源・排水方式は、一般にはどれか1つを使用する。また、一部の空気炉、給水、電力等の詳細は省略している。</p>	2020/10/5	1~2
168	図3-4-4	直結水道方式 ①直圧直結方式 ②増圧直結方式 ③貯水槽(高置水槽)方式 ④受水槽ポンプ圧送方式	直結給水方式 ①直結直圧方式 ②直結増圧方式 ③受水槽・高置水槽方式 ④受水槽・ポンプ圧送方式	2020/10/5	1~2
204	図4-1-35 中段	ベースキャビネット	フロアキャビネット	2020/10/5	1~2

頁	行・図表番号	誤	正	正誤表発行日	適用HB																																																
204	図4-1-35下から2行目	CADでベースキャビネット	CADでフロアキャビネット	2020/10/5	1~2																																																
224	左下から5行目	ベースキャビネット	フロアキャビネット	2020/10/5	1~2																																																
273	右上から3行目	◎申訳ありませんが	◎申訳ありませんが	2020/10/5	1~2																																																
306	[表示例]	<p>1) 商品名:〇〇〇キッチン 2) 〇〇(株) 3) F☆☆☆☆(下地部分☆☆☆☆) 4) 住宅部品表示ガイドラインによる 5) ロット番号、製造年月日など 6) 構成材料</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">内装仕上部分</th> <th colspan="2">下地部分</th> </tr> <tr> <td>ホルムアルデヒド 発散建築材料</td> <td>発散区分</td> <td>ホルムアルデヒド 発散建築材料</td> <td>発散区分</td> </tr> <tr> <td>PB</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td>PB</td> <td>F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>MDF</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td>接着剤</td> <td>F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>合板</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>接着剤</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇(電話番号など)</p>	内装仕上部分		下地部分		ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	PB	F☆☆☆☆	PB	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆	合板	F☆☆☆☆			接着剤	F☆☆☆☆			<p>赤枠が修正箇所</p> <p>1) 商品名:〇〇〇キッチン 2) 〇〇(株) 3) F☆☆☆☆(下地部分☆☆☆☆) 4) 住宅部品表示ガイドラインによる 5) ロット番号、製造年月日など 6) 構成材料</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">内装仕上部分</th> <th colspan="2">下地部分</th> </tr> <tr> <td>ホルムアルデヒド 発散建築材料</td> <td>発散区分</td> <td>ホルムアルデヒド 発散建築材料</td> <td>発散区分</td> </tr> <tr> <td>PB</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td>PB</td> <td>F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>MDF</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td>接着剤</td> <td>F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>合板</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>接着剤</td> <td>F☆☆☆☆</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇(電話番号など)</p>	内装仕上部分		下地部分		ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	PB	F☆☆☆☆	PB	F☆☆☆☆	MDF	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆	合板	F☆☆☆☆			接着剤	F☆☆☆☆			2020/10/5	1~2
内装仕上部分		下地部分																																																			
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分																																																		
PB	F☆☆☆☆	PB	F☆☆☆☆																																																		
MDF	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆																																																		
合板	F☆☆☆☆																																																				
接着剤	F☆☆☆☆																																																				
内装仕上部分		下地部分																																																			
ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分	ホルムアルデヒド 発散建築材料	発散区分																																																		
PB	F☆☆☆☆	PB	F☆☆☆☆																																																		
MDF	F☆☆☆☆	接着剤	F☆☆☆☆																																																		
合板	F☆☆☆☆																																																				
接着剤	F☆☆☆☆																																																				
310	右下から5行目	除去 装置を	除去装置を	2020/10/5	1~2																																																
		<p>注:給湯の熱源・排水方式は、一般にはどれか1つを使用する。また、一部の空気抜弁、排水管、電力線等の詳細は省略している</p>		2020/10/5	1~2																																																
14	表1-1-7	1. ここでの共働き世帯は	1. ここでの非共働き世帯は、	2018/1/30	1																																																
14	表1-1-7	3. ~65歳以上の無職の世帯員	3. ~65歳以上の有職の世帯員	2018/1/30	1																																																
29	右上から4行目	プレート上の磁性をおびた鍋自体を発熱させる	プレート上の鍋底を透過する磁束(磁力線)を変化させることで生じる渦電流により鍋自体を発熱させる	2018/1/30	1																																																
104	図2-3-10 b)	排気を自然換気	排気を自然排気	2018/1/30	1																																																
104	図2-3-10 c)	給気を自然換気	給気を自然給気	2018/1/30	1																																																
106	右下から10行目	に対する最低必要圧を	に対する最低必要圧力を	2018/1/30	1																																																
109	表2-3-6	室内騒音許容値	室内騒音レベル(許容値)	2018/1/30	1																																																
109	表2-3-6	d B (A)	d B	2018/1/30	1																																																
118	右上から8行目	他のエリアには、不燃材料	他のエリアとの間を、不燃材料	2018/1/30	1																																																
161	左下から9行目	騒音計のA特性で測定された	騒音計で測定された	2018/1/30	1																																																
161	左下から7行目	(d B (A))	(d B)	2018/1/30	1																																																
161	表3-3-6	d B (A)	d B	2018/1/30	1																																																

頁	行・図表番号	誤	正	正誤表発行日	適用HB
166	図3-4-1		赤い○が修正箇所（拡大版は次頁） 	2018/1/30	1
167	左下から10行目	残留塩素が給水栓において0.1 ppm以上で、微生物や	遊離残留塩素が給水栓において0.1 mg/L以上保持する、病原生物や	2018/1/30	1
173	左下から7行目	交流をインバーターによって数万Hz程度にまで周波数を上げて使用している。	交流をインバーター回路の数万Hz程度のスイッチング周波数によって出力制御して使用している。	2018/1/30	1
174	左上から4行目	主ブレーカは契約容量（30～40アンペアが主流）を超える電流が流れると作動して電流を遮断し、サブブレーカ（分岐開閉器）は分岐回路の容量（15アンペア）を超えると作動して切れる。漏電ブレーカは、短絡回路を微小電流が継続的に流れる（ショート）現象を探知すると漏電と判断し、作動して切れる。	主ブレーカ（契約主開閉器）は、その定格電流（30～50アンペアが主流）を超える電流が流れると作動して電流を遮断し、サブブレーカ（分岐開閉器）は、その定格電流（20アンペアが主流）を超えて分岐回路に電流が流れると作動して切れる。漏電ブレーカは、回路の行きの電流と戻りの電流に差が生じる地絡現象を探知すると漏電と判断し、作動して切れる。	2018/1/30	1
174	左下から5行目	その定格容量は15アンペアである。	その許容電流は約20アンペア（断面積が2mm ² の場合）である。	2018/1/30	1
174	図3-4-14（右上）	抵抗発熱 誘導発熱 誘電発熱	抵抗加熱 誘導加熱 誘電加熱	2018/1/30	1
174	右下から1行目	電気を熱に代えて利用する機器で、抵抗発熱によるものと、誘導発熱、誘電発熱、動力の熱利用によるものがある。抵抗発熱は、大きな抵抗の回路を電流が流れたときに発熱する現象で、電気炊飯器（図3-4-15）、トースター、電気ストーブ、アイロンなどが該当する。誘導発熱は渦電流による発熱、誘電発熱はマイクロ波（非常に周波数が高い電波）による発熱で、それぞれ電磁調理器、電子レンジが該当する。	電気を熱に変換して利用する機器には、抵抗加熱、誘導加熱、誘電加熱による発熱を利用するものがある。抵抗加熱は、抵抗に電流が流れた際に発生する熱を熱源とする方式で、電気炊飯器（図3-4-15）、トースター、電気ストーブ、アイロンなどが該当する。誘導加熱は渦電流による発熱、誘電加熱はマイクロ波（非常に周波数が高い電波）による発熱を利用する方式で、それぞれ電磁調理器、電子レンジが該当する。	2018/1/30	1
260	右下から4行目	①開放型流通政策、②排他型および③選択型流通政策の3 つがある。	①開放的流通政策、②排他的流通政策および③選択的流通政策の3 つがある。	2018/1/30	1
271	左上から4行目	キッチンスペシャリスト有資格者の所属先を見ると、住設メーカー、住宅メーカー、建設業、住設を含めての卸売業、設計・デザイン事務所の順になっており、職種別では、営業・販売部門、相談業務部門が多く、少し離れて設計部門、施工管理部門となっている。また、男女別では女性が約8割を占めている。	キッチンスペシャリスト有資格者は、住設メーカー、住宅メーカー、建設業、住設を含めての卸売業、設計・デザイン事務所等に所属し、職種としては、営業・販売部門、相談業務部門、設計部門、施工管理部門等で活躍している。また、男女別では女性が約8割を占めている。	2018/1/30	1
288	左下から4行目	同時給排気式の器機	同時給排気式の機器	2018/1/30	1
290	右上から9行目	・再販価格 メーカーの設定した価格を流通業者に守らせるものだが、傾向として自由化の方向にある。	・再販価格 メーカーなどが指定して流通業者・小売業者に守らせる販売価格。独禁法で原則禁止され、例外として認められている品目もあるが、傾向として自由化の方向にある。	2018/1/30	1
353	左上から18行目	表3-3-6	表2-3-6（第2章に移動）	2018/1/30	1

頁	行・図表番号	誤	正	正誤表発行日	適用HB	
	図3-4-1 住宅設備・インテリア機器	<p>注：給湯の熱源は、一箇にどれか1つを使用する。また、一部の空気弁、排水、電力線の詳細は省略している。</p>			2018/1/30	1